

# 大 手 前 大 学 学 则

(2026年4月1日改正)

学 校 法 人 大 手 前 学 园

# 大手前大学学則

(2026年4月1日改正)

## 第1章 総則

(目的)

**第1条** 本学は、建学の精神である“STUDY FOR LIFE（生涯にわたる、人生のための学び）”に基づき、豊かな教養と専門的学術、旺盛な自己開発精神、優れた国際感覚及び問題解決能力を備えた人材を育成し、地域の教育・研究及び生涯学習の中心として、地域社会・国際社会に貢献することを目的とする。

(自己評価)

**第2条** 本学は、前条の目的及び社会的使命を達成するため、教育研究活動等の状況について自ら点検及び評価を行うものとする。

## 第2章 学部及び学科

(学部・学科)

**第3条** 本学に次の学部及び学科を置く。

国際日本学部	国際日本学科
建築&芸術学部	建築&芸術学科
現代社会学部	現代社会学科
健康栄養学部	管理栄養学科
国際看護学部	看護学科
経営学部	経営学科

(通信教育部)

**第3条の2** 本学に通信教育部を置く。

2 通信教育部に関する規程は、別に定める。

(人材養成等教育研究上の目的)

**第3条の3** 本学は学士課程としてリベラルアーツ教育を全学で行うとともに、第3条に定める学部、学科においては、以下を目的として教育研究活動等を行う。

- (1) 国際日本学部国際日本学科は、人類が創造してきた文化的行為を教育研究の対象とし、学修活動の中で、文化についての深い洞察力和高い教養を身につけ、異文化に対しても広い視野をもって尊重し理解することのできる教養豊かな人材養成を目的とする。
- (2) 建築&芸術学部建築&芸術学科は、芸術、建築、マンガ・アニメーション、メディア表現を教育研究の対象とし、学修活動の中で、創造力と表現力を修得し、文化的に人間生活を考える素養を備えた感性豊かな人材養成を目的とする。
- (3) 現代社会学部現代社会学科は、国内外の社会現象を教育研究の対象とし、学修活動の中で、

現代社会の諸問題を発見・理解できる力を身につけ、社会人基礎力を備えた幅広く社会で活躍できる人材養成を目的とする。

- (4) 健康栄養学部管理栄養学科は、複雑多様化した健康課題を教育研究の対象とし、学修活動の中で、コミュニケーション能力、企画力、及び実行力を身につけ、幅広い教養、高度な専門知識・技能、豊かな人間性を兼ね備えた、国民の健康向上に貢献できる人材養成を目的とする。
- (5) 国際看護学部看護学科は、国際化する社会で暮らす多様な人々への看護に関する課題を教育研究の対象とし、グローバルな視野に立った教養を基礎とする知識・技能・態度を身につけ、全ての人々が人らしく生きるための支援を実践できる人材養成を目的とする。
- (6) 経営学部経営学科は、国内外における経営現象を教育研究の対象とし、学修活動の中で、豊かな教養、経営学の専門知識を身につけ、地域に軸足を置きつつ、企業や団体における課題解決を通じて、社会の幸福と持続可能な発展に貢献できる人材養成を目的とする。

### 第3章 定員及び修業年限

(定員)

**第4条** 本学学生の定員は、次表のとおりとする。

学部	学科	入学定員	編入学定員		収容定員
			2年次	3年次	
国際日本学部	国際日本学科	160人	4人	2人	656人
建築&芸術学部	建築&芸術学科	170人	4人	2人	696人
現代社会学部	現代社会学科	200人	4人	2人	816人
健康栄養学部	管理栄養学科	80人	—	16人	352人
国際看護学部	看護学科	80人	—	—	320人
経営学部	経営学科	170人	2人	7人	700人
合計		860人	14人	29人	3,540人

(修業年限)

**第5条** 本学の修業年限は、4年とする。ただし、在学期間は、8年を超えることはできない。

**第5条の2** 前条の規定にかかわらず、第56条に定める本学の科目等履修生として本学において一定の単位を修得した者（第26条の規定により本学に入学できる者となった後、修得したものに限り。）が本学に入学する場合において、当該単位の修得により本学の教育課程の一部を履修したと認められるときは、修得した単位数その他の事項を勘案して、1年又は2年を修業年限に通算することができる。

- 2 前項の期間を修業年限に通算した者の在学期間は、通算した年数と合わせて8年を超えることができない。

### 第4章 学年、学期及び休業日

(学年)

**第6条** 学年は、4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

(学期)

**第 7 条** 学年を次の2期に分ける。

春学期 4月1日から9月20日まで

秋学期 9月21日から翌年3月31日まで

(休業日)

**第 8 条** 休業日は、次のとおりとする。

- (1) 日曜日
- (2) 国民の祝日に関する法律に定める休日
- (3) 大手前学園開学記念日 (10月26日)
- (4) 夏期休業日 (8月1日から9月20日まで)
- (5) 冬期休業日 (12月24日から翌年1月7日まで)
- (6) 春期休業日 (3月21日から3月31日まで)

2 前項に定める休業日を臨時に変更し、また、臨時の休業日を定めることができる。

## 第 5 章 教育課程及び履修方法

(教育課程)

**第 9 条** 各学部学科における教育課程の区分は、次表のとおりとする。

学 部	学 科	授業科目区分	
国際日本学部	国際日本学科	総合科目	専攻科目
建築&芸術学部	建築&芸術学科	総合科目	専攻科目
現代社会学部	現代社会学科	総合科目	専攻科目
健康栄養学部	管理栄養学科	総合科目	専攻科目
国際看護学部	看護学科	総合科目	専攻科目
経営学部	経営学科	総合科目	専攻科目

**第 9 条の 2** 前条の授業科目及び単位数等は、別表1のとおりとする。

2 授業科目はこれを分けて、必修科目、選択科目及び自由科目とする。

**第 9 条の 3** 別表1の授業科目について、専ら英語を用いて授業を行うクラスを置くことがある。

2 前項のクラスにおいて履修したものについては、専ら日本語を用いて授業を行うクラスにおける履修とは別に単位を与えることができる。

(授業の方法)

**第 10 条** 授業は、講義、演習、実験、実習若しくは実技のいずれかにより又はこれらの併用により行うものとする。

2 前項の授業を、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることがある。

3 前項の授業の方法により修得する単位数は 60 単位を超えないものとする。

4 第 2 項の授業を行う授業科目については、別に定める。

(授業内容等の改善のための組織的な研修等)

**第 10 条の 2** 本学は、授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究を定期的に実施するものとする。

(単位算定の基準)

**第 11 条** 各授業科目の単位数は、1 単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により計算するものとする。

- (1) 講義及び演習については、15 時間の授業をもって 1 単位とする。ただし、授業科目によっては、30 時間の授業をもって 1 単位とする。
- (2) 実験、実習及び実技については、30 時間の授業をもって 1 単位とする。ただし、授業科目によっては、45 時間の授業をもって 1 単位とする。
- (3) 1 つの授業科目について、複数の授業の方法の組み合わせによって行われる場合は、前 2 号に規定する基準を考慮して別に定める時間数をもって 1 単位とする。

2 前項の規定にかかわらず、卒業論文、卒業制作、卒業研究等の授業科目については、これに必要な学修等の成果を考慮して単位数を定める。

(履修方法)

**第 12 条** 各授業科目の履修については、次表のとおりとする。

学 部	学 科	総合科目	専攻科目
国際日本学部	国際日本学科	16 単位以上	46 単位以上
建築&芸術学部	建築&芸術学科	16 単位以上	46 単位以上
現代社会学部	現代社会学科	16 単位以上	50 単位以上
健康栄養学部	管理栄養学科	10 単位以上	102 単位以上
国際看護学部	看護学科	22 単位以上	100 単位以上
経営学部	経営学科	10 単位以上	74 単位以上
合計修得単位数		124 単位以上	

2 前項の単位に加え、主専攻（メジャー）1 つ以上を修めなければならない。

(通信教育課程の授業科目の履修)

**第 12 条の 2** 学生は、教育上有益と認めるときは、通信教育課程の授業科目を履修することができる。

- 2 通学課程の学生が履修できる通信教育課程の授業科目は、面接授業及びメディアを利用した授業とし、メディアを利用した授業を履修したときは、第 10 条第 2 項の授業の方法により履修したものとみなす。
- 3 前項の規定により履修した授業科目の単位については、30 単位を限度として、通学課程において修得したものとみなすことができる。

(既修得単位の認定)

**第 13 条** 本学に入学する前に、大学、専門職大学又は短期大学（外国の大学、短期大学を含む。）において修得した単位（科目等履修生により修得した単位を含む。）について教育上有益と認め

るときは、本学に入学した後の本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

- 2 前項により与えることができる単位数は、編入学及び転入学の場合を除き、本学において修得した単位以外のものについては、次条第 1 項（同条第 2 項において準用する場合を含む。）及び第 14 条の 2 第 1 項により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて 60 単位を超えないものとする。

（他の大学、専門職大学又は短期大学における授業科目の履修等）

**第 14 条** 教育上有益と認めるときは、学生が本学の定めるところにより他の大学、専門職大学又は短期大学において授業科目を履修し、修得した単位を、前条第 1 項及び次条第 1 項により修得した単位数と合わせて60単位を超えない範囲で、本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

- 2 前項の規定は、学生が外国の大学又は短期大学に留学する場合、外国の大学又は短期大学が行う通信教育における授業科目を我が国において履修する場合及び外国の大学又は短期大学の教育課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該教育課程における授業科目を我が国において履修する場合に準用する。

（大学以外の教育施設等における学修）

**第 14 条の 2** 教育上有益と認めるときは、学生が行う短期大学又は高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が定める学修を、本学における授業科目の履修とみなし、本学の定めるところにより、単位を与えることができる。

- 2 前項により与えることのできる単位数は、第 13 条第 1 項及び前条第 1 項（同条第 2 項において準用する場合を含む。）により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて 60 単位を超えないものとする。

（長期にわたる教育課程の履修）

**第 15 条** 学生が、事情により第5条に規定する修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し、卒業することを希望する旨申し出たときは、その計画的な履修を認めることができる。

（資格取得）

**第 16 条** 教育職員免許状を得ようとする者は、第23条に規定する卒業の要件を充足し、かつ、教育職員免許法及び同法施行規則に定める科目の単位を修得しなければならない。

- 2 本学において取得できる教育職員免許状の種類は、次のとおりとする。

学 部	学 科	取得できる教育職員免許状
国際日本学部	国際日本学科	中学校教諭一種免許状（社会）
		高等学校教諭一種免許状（地理歴史）
		中学校教諭一種免許状（国語）
		高等学校教諭一種免許状（国語）
		中学校教諭一種免許状（英語）

		高等学校教諭一種免許状（英語）
建築&芸術学部	建築&芸術学科	中学校教諭一種免許状（美術） 高等学校教諭一種免許状（美術） 高等学校教諭一種免許状（工芸）
健康栄養学部	管理栄養学科	栄養教諭一種免許状

**第 17 条** 博物館学芸員の資格を得ようとする者は、第23条に規定する卒業の要件を充足し、かつ、博物館法及び同法施行規則に定める科目の単位を修得しなければならない。

**第 18 条** 図書館司書の資格を得ようとする者は、第23条に規定する卒業の要件を充足し、かつ、図書館法及び同法施行規則に定める科目の単位を修得しなければならない。

**第 18 条の 2** 一級建築士国家試験の受験資格を得ようとする者は、第23条に規定する卒業の要件を充足し、かつ、国土交通大臣の指定する建築に関する科目の単位を修得しなければならない。

2 本学を卒業後所定の実務の経験を経て1級建築施工管理技術検定又は2級建築施工管理技術検定の受験資格を得ようとする者は、第23条に規定する卒業の要件を充足し、かつ、建設業法及び同法施行規則に定める科目の単位を修得しなければならない。

**第 18 条の 3** 栄養士の免許を得ようとする者は、第23条に規定する卒業の要件を充足し、かつ、栄養士法及び同法施行規則に定める科目の単位を修得しなければならない。

2 管理栄養士国家試験の受験資格を得ようとする者は、前項の規定により栄養士の免許を受ける要件を満たすとともに、管理栄養士学校指定規則に定める科目の単位を修得しなければならない。

**第 18 条の 4** 看護師国家試験の受験資格を得ようとする者は、第23条に規定する卒業の要件を充足し、かつ、保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める科目の単位を修得しなければならない。

（履修登録）

**第 19 条** 学生は、毎学期の始めに、当該学期において履修しようとする授業科目を届け出て承認を得なければならない。

2 休学中の者並びに授業料及びその他の学納金を納付していない者は、授業科目を履修することができない。

## 第 6 章 成績評価

（成績評価）

**第 20 条** 学年末又は学期末において、所定の履修科目について、試験の上成績評価を行う。ただし、第11条第 2 項の授業科目については、大学の定める適切な方法により学修の成果を評価して単位を与えることができる。

**第 21 条** 履修科目の成績評価は、A、B、C、D及びFの5段階に分け、A、B、C、Dの評価を受けた科目については、所定の単位を与える。Fの評価を受けた科目については、単位を与えない。

2 前項の成績評価における各評語の意義については、別に定める。

3 第 1 項の成績評価によりG P Aを算出し、成績管理に適用する。健康栄養学部、国際看護学部

については卒業判定にもこれを適用する。

## 第 22 条 削除

### 第 7 章 卒業及び学位

(卒業)

**第 23 条** 本学の卒業要件は以下のとおりとする。

[国際日本学部]

本学に 4 年以上在学し、所定の 124 単位以上を修得した者は、教授会の議を経て卒業を認定する。

[建築&芸術学部]

本学に 4 年以上在学し、所定の 124 単位以上を修得した者は、教授会の議を経て卒業を認定する。

[現代社会学部]

本学に 4 年以上在学し、所定の 124 単位以上を修得した者は、教授会の議を経て卒業を認定する。

[健康栄養学部]

本学に 4 年以上在学し、所定の 124 単位以上を修得して入学時からの通算 GPA1.5 以上の者は、教授会の議を経て卒業を認定する。

[国際看護学部]

本学に 4 年以上在学し、所定の 124 単位以上を修得して入学時からの通算 GPA1.5 以上の者は、教授会の議を経て卒業を認定する。

[経営学部]

本学に 4 年以上在学し、所定の 124 単位以上を修得した者は、教授会の議を経て卒業を認定する。

- 2 本学に 3 年以上在学し、前項に定める単位を優秀な成績で修得した者は、別に定めるところにより、卒業を認めることができる。

(学位)

**第 24 条** 本学を卒業した者に対し、学士の学位を授与する。

- 2 前項に定める学位の種類は、次のとおりとする。

(1) 国際日本学部	国際日本学科	学士 (学術)
(2) 建築&芸術学部	建築&芸術学科	学士 (学術)
(3) 現代社会学部	現代社会学科	学士 (学術)
(4) 健康栄養学部	管理栄養学科	学士 (栄養学)
(5) 国際看護学部	看護学科	学士 (看護学)
(6) 経営学部	経営学科	学士 (経営学)

### 第 8 章 入学、転部、留学、休学、退学及び除籍等

**第 25 条** 入学の時期は春学期の始めとする。ただし、特別な場合は秋学期からの入学を認めることができる。

(入学資格)

**第 26 条** 本学に入学できる者は、次の各号の一に該当する者とする。

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者
- (3) 外国において、学校教育における 12 年の課程を修了した者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程に相当するものとして指定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (5) 専修学校の高等課程（修業年限が 3 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (6) 文部科学大臣の指定した者
- (7) 高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧大学入学資格検定に合格した者を含む。）
- (8) 本学において高等学校を卒業したものと同等以上の学力があると認められた者で 18 歳に達した者

（入学試験）

**第 27 条** 前条の資格を有する者で、本学に入学を志願する者に対して入学試験を行う。

（出願手続）

**第 28 条** 入学志願者は、第44条に定める入学検定料を添えて、所定の期日までに定められた書類を提出しなければならない。

（入学者選考）

**第 29 条** 入学者の選考については、別に定めるところによる。

（入学手続）

**第 30 条** 入学の許可は、誓約書、保証書、その他本学所定の書類の提出及び入学金、授業料その他の学納金の納付等の手続を経た者に対して行う。

（保証人）

**第 31 条** 保証人は、保護者又は独立の生計を営む者で、確実に保証人としての責務を果たすことのできる者でなければならない。

**第 32 条** 保証人は、保証する学生の在学中その一身に関する責務を極度額の限度で果たさなければならない。その限度は別途定める。

**第 33 条** 保証人が死亡し、又はその他の事由で責務を果たすことのできない場合は、直ちに新たな保証人を定めて届け出なければならない。

**第 34 条** 保証人が住所、氏名等を変更したときは、直ちにその旨を届け出なければならない。

（編入学又は転入学）

**第 35 条** 第2年次又は第3年次に編入学を志願する者については、選考の上、同年次に編入学を許可することができる。

2 前項により第 2 年次に編入学できる者は、次の各号の一に該当する者とする。

- (1) 大学、専門職大学（外国の大学を含む。以下同じ。）を卒業した者

- (2) 短期大学（外国の短期大学を含む。）を卒業した者
- (3) 高等専門学校を卒業した者
- (4) 高等学校若しくは中等教育学校の後期課程の専攻科（修業年限が 2 年以上であることその他文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。）を修了した者で第 26 条の入学資格を有するもの
- (5) 専修学校の専門課程のうち、文部科学大臣の定める基準を満たすものを修了した者で第 26 条の入学資格を有するもの

3 第 1 項により第 3 年次に編入学できる者は、次の各号の一に該当する者とする。

- (1) 大学、専門職大学を卒業した者
- (2) 前項第 2 号以下の一に該当する者

**第 35 条の 2** 他大学又は専門職大学に1年以上在学し、所定の単位を修得して退学した者が、転入学を志願するときは、選考の上、同年次に転入学を許可することができる。

**第 36 条** 前2条により編入学又は転入学を許可された者の在学すべき期間は、前2条各号に掲げる学校及び課程における修業年限に相当する年数又は在籍していた年数以下の期間（2年以内に限る。）を控除した期間とする。

2 編入学又は転入学を許可された者の在学期間は、前項の規定により控除した年数と合わせて 8 年を超えることができない。

（転部）

**第 37 条** 本学学生が他学部への転部を志望するときは、選考の上、相当年次への転部を許可することができる。

（転籍）

**第 37 条の 2** 本学の通信教育課程の学生が通学課程に転籍を願い出たときは、審査の上、相当年次への転籍を許可することができる。

2 本学の通信教育課程に転籍を願い出た者があるときは、審査の上、相当年次への転籍を許可することができる。

（留学）

**第 38 条** 外国の大学又は短期大学の授業科目を履修しようとする者は、本学と当該外国の大学又は短期大学との協議に基づき、許可を得て留学することができる。

2 前項に規定する留学期間は、2 か年以内とし、その期間を第 5 条の修業年限及び在学期間に算入することができる。

3 留学により修得した単位については、第 14 条に定める範囲内で、本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

4 留学に関し必要な事項は、別に定める。

（休学）

**第 39 条** 傷病その他やむを得ない事由により、3か月以上修学できないときは、その事実を証明する書類を添えて、保証人連署の上、休学願を提出し、許可を得て休学することができる。

2 休学の期間は、1 学期又は 1 年とする。ただし、特別の事情がある場合は、引き続き 1 年以内

の期間の休学を許可することができる。

3 休学の期間は、通算して 2 年を超えることができない。

4 休学の期間は、第 5 条に定める在学期間に算入しない。

(復学)

**第 40 条** 休学の事由が消滅し復学しようとする者は、復学願を提出し、許可を得て復学することができる。

(退学)

**第 41 条** 傷病その他やむを得ない事由により退学しようとする者は、保証人連署の退学願を提出し、許可を得なければならない。

(再入学)

**第 42 条** 所定の手続を経て退学した者及び次条（第3号を除く。）により除籍された者が、再入学を希望するときは、所定の書類を提出し、許可を得て再入学することができる。

2 再入学に関し必要な事項は別に定める。

(除籍)

**第 43 条** 次の各号の一に該当する者は、除籍する。

- (1) 休学期間が通算 2 年を経過して、なお復学又は退学しない者
- (2) 休学期間を終了して、復学、退学又は休学の延長をしない者
- (3) 第 5 条に定める在学期間を満了しても卒業せず、なお退学の願出をしない者
- (4) 授業料及びその他の学納金を納付しない者
- (5) 長期にわたり所在不明の者

## 第 9 章 入学検定料、入学金及び授業料その他の学納金

(入学検定料)

**第 44 条** 入学志願者は、入学検定料を所定の期日までに納付しなければならない。

(入学金、授業料その他の学納金)

**第 45 条** 入学試験で合格と判定された者は、入学金、授業料その他の学納金を所定の期日までに納付しなければならない。

**第 46 条** 前2条に定める入学金、授業料その他の学納金の額は、別表2のとおりとする。

2 前項及び次条に定める学納金について必要な事項については、別に定める。

**第 47 条** 既に納付した入学検定料、入学金、授業料その他の学納金は、原則として返還しない

**第 48 条** 休学期間中は、在籍料として別表2で定める額を徴収し、これ以外の学納金は徴収しない。ただし、学期の途中において休学する場合は、当該学期の授業料その他の学納金は納付しなければならない。

2 外国からの留学生の兵役等当該国の法律による休学の場合の学納金については、別に定める。

## 第 10 章 賞罰

(表彰)

**第 49 条** 本学学生で特に優秀なものに対して褒賞することができる。

(懲戒)

**第 50 条** 本学学生が学則その他本学の定める諸規則を守らず、学生の本分に反する行為があったときは、教授会の議を経て懲戒処分を行うことがある。

2 懲戒の種類は、退学、停学及び訓告とし、処分の手続については別に定める。

3 前項の退学は、次の各号の一に該当する学生に対して行う。

- (1) 性行不良で改善の見込みがないと認められる者
- (2) 学力劣等で成業の見込みがないと認められる者
- (3) 正当な理由なしに出席が常でない者
- (4) 本学の秩序を乱し、学生としての本分に反した者

## 第 11 章 委託生、科目等履修生、特別聴講学生、聴講生、外国人特別留学生及び研究生

(委託生)

**第 51 条** 公共機関若しくは、その他の機関から委託された場合は、本学学生の学修に支障がない限り選考の上、委託生として受け入れることができる。

**第 52 条** 委託生は、第26条に規定する入学資格を有する者でなければならない。

**第 53 条** 委託生は、履修した授業科目の試験を受験しなければならない。

2 前項により試験を受けた者には、証明書を交付することができる。

**第 54 条** 委託生が、修得した授業科目の単位並びに修学した年数は、第9条の2に規定する単位及び第5条に規定する在学年数に換算することができない。

**第 55 条** 委託生の学納金等については、別に定める。

(科目等履修生)

**第 56 条** 本学において、特定の授業科目についての履修を志願する者があるときは、教育研究に支障のない場合に限り、選考の上、科目等履修生として入学を許可することができる。

2 科目等履修生に関し必要な事項は、別に定める。

(特別聴講学生)

**第 56 条の 2** 他の大学、専門職大学又は短期大学の学生で、本学において特定の授業科目についての履修を志願する者があるときは、当該大学又は短期大学との協議に基づき、特別聴講学生として授業の履修を許可することができる。

2 科目等履修生に関する規定は、特別聴講学生に準用する。

(聴講生)

**第 57 条** 本学において、特定の授業科目について聴講を希望する者があるときは、教育研究に支障のない場合に限り、選考の上、聴講生として授業の聴講を許可することができる。

2 聴講生に関し必要な事項は、別に定める。

(外国人特別留学生)

**第 58 条** 外国の大学に在学する学生が、本学の授業科目を履修又は聴講し、若しくは研究指導を受けるために入学を願い出たときは、第29条及び第30条の規定にかかわらず、選考の上、外国人特別留学生として入学を許可することができる。

2 外国人特別留学生に関し必要な事項は、別に定める。

(研究生)

**第 59 条** 本学において、特定の専門事項について研究することを志願する者があるときは、教育研究に支障のない場合に限り、選考のうえ研究生として入学を許可することができる。

2 研究生に関し必要な事項は、別に定める。

## 第 12 章 職員組織

(職員)

**第 60 条** 本学に次の職員を置く。

(1) 学長、副学長、学部長、大学院研究科長、図書館長、教務部長、学生部長、アドミッションズオフィス部長、キャリアセンター部長、通信教育部長、学科主任、研究所長、アートセンター館長

(2) 教授、准教授、講師、助教、助手（教育）、教務職員

(3) 事務職員、業務職員、その他必要な職員

2 学長は、校務をつかさどり、所属職員を統督する。

3 副学長は、学長を助け、命を受けて校務をつかさどる。

(研修の機会等)

**第 60 条の 2** 本学は、教育研究活動等の適切かつ効果的な運営を図るため、職員に必要な知識及び技能を習得させ、並びにその能力及び資質を向上させるための研修（第10条の2に規定する研修に該当するものを除く。）の機会を設けることその他必要な取組を定期的実施するものとする。

## 第 13 章 教授会

(構成)

**第 61 条** 本学に教授会を置く。

2 教授会は、学長、副学長、学部長、教授、准教授、講師をもって構成する。

3 教授会には、助教及び助手（教育）を加えることができる。

4 理事長および総長は、教授会に出席することができる。

(招集)

**第 62 条** 教授会は、学長が招集する。

(教授会の任務)

**第 63 条** 教授会は、学長が次に掲げる事項について決定を行うに当たり意見を述べるものとする。

- (1) 学生の入学、卒業及び課程の修了
  - (2) 学位の授与
  - (3) 前 2 号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要な事項で、教授会の意見を聴くことが必要なものとして学長が定めるもの
- 2 教授会は、前項に規定するもののほか、学長がつかさどる教育研究に関する事項について審議し、及び学長の求めに応じ、意見を述べることができる。
- 3 教授会の運営に関し必要な事項は、別に定める。

## 第 14 章 教学運営評議会

(構成)

**第 64 条** 本学に教学運営評議会を置く。

- 2 教学運営評議会は、学長、副学長、学部長、大学院研究科長、図書館長、教務部長、学生部長、アドミッションズオフィス部長、キャリアセンター部長、通信教育部長及び学長が指名する教職員若干名をもって構成し、学長が議長となる。
- 3 理事長および総長は、教学運営評議会に出席することができる。

(教学運営評議会の任務)

**第 65 条** 教学運営評議会は、学長の諮問に応じて次の事項を審議する。

- (1) 大学（大学院を含む。以下同じ。）の重要な制度及び規則の制定、改廃に関する事項
  - (2) 大学の重要な施設の設置廃止に関する事項
  - (3) 大学及び教員の人事に関する事項
  - (4) 学部、通信教育部及び研究科の教育課程に関する事項
  - (5) 大学の将来計画に関する事項
  - (6) 大学評価及び自己点検評価に関する事項
  - (7) 各学部その他の連絡調整に関する事項
  - (8) その他大学全般の運営に関する重要事項
- 2 教学運営評議会の運営に関し必要な事項は、別に定める。

## 第 15 章 付属施設

(図書館)

**第 66 条** 本学に図書館を設置し、教育研究のために資する。

- 2 図書館の運営に関し必要な事項は、別に定める。

(研究所)

**第 67 条** 本学に学術研究の進展向上を図るため、次の研究所を置く。

- (1) 交流文化研究所

- (2) 史学研究所
- (3) 国際看護研究所 (Otemae University Institute of Global Nursing)

2 研究所の運営に関し必要な事項は、別に定める。

(アートセンター)

**第 68 条** 本学に情操教育と地域文化への貢献を目的としてアートセンターを設置し、大手前アートセンターと称する。

2 大手前アートセンターの運営に関し必要な事項は別に定める。

(健康相談室)

**第 69 条** 本学の各キャンパスに学生、教職員の保健管理を行うために健康相談室を置く。

(学生宿舎)

**第 70 条** 本学に学生のための厚生施設として、学生宿舎を置く。

2 学生宿舎に関し必要な事項は別に定める。

附 則

本学則は、昭和 41 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

以下省略

附 則

1 本改正規則は、平成 18 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

1 本改正規則は、平成 19 年 4 月 1 日から施行する。

ただし、平成 18 年度以前の入学者については、なお従前の例による。

2 人文科学部の各学科の入学定員メディア・芸術学科 100 人、交流文化学科 150 人、史学科 175 人は、平成 19 年 4 月 1 日より募集停止をし、在学生在がいなくなることをもって廃止となる。

社会文化学部の各学科の入学定員人間環境学科 130 人、キャリアデザイン学科 115 人は、平成 19 年 4 月 1 日より募集停止し、在学生在がいなくなることをもって廃止となる。

附 則

1 本改正規則は、平成 20 年 4 月 1 日から施行する。

2 平成 18 年度以前の入学者については、なお従前の例による。

附 則

1 本改正規則は、平成 20 年 4 月 1 日から施行する。

なお、本学則改正による入学定員及び編入学定員の変更に伴う平成 20 年度から 23 年度までの年次進行による収容定員は、以下のとおり。

	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
総合文化学部	476 人	706 人	936 人	906 人
メディア・芸術学部	406	616	826	826
現代社会学部	476	737	998	1,028
計	1,358	2,059	2,760	2,760

2 平成 18 年度以前の入学者については、なお従前の例による。

ただし、第 7 条、第 10 条の 2、第 11 条、第 26 条、第 35 条、第 55 条、第 58 条、第 67 条、第 67 条の 2 を除く。

3 本学則改正による在籍料の変更（第 48 条）に伴い、平成 19 年度以前の入学者についても、規定の相当額を準用する。

附 則

1 本改正規則は、平成 21 年 4 月 1 日から施行する。

ただし、第 9 条の 2 に定める別表 1 に係る変更は、平成 20 年度以前の入学者については、なお従前の例による。

附 則

1 本改正規則は、平成 22 年 4 月 1 日から施行する。

ただし、第 9 条の 2 に定める別表 1 に係わる変更は、平成 21 年度以前の入学者については、なお従前の例による。

附 則

1 本改正規則は、平成 23 年 4 月 1 日から施行する。ただし、第 9 条の 2 に定める別表 1 に係る変更は、平成 22 年度以前の入学者については、なお従前の例による。

2 前項ただし書の規定にかかわらず、教育上有益と認める場合には、別表 1 に掲げる授業科目を平成 22 年度以前の入学者に履修させることができる。

附 則

1 本改正規則は、平成 24 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

1 本改正規則は、平成 25 年 4 月 1 日から施行する。

2 平成 22 年度以前に入学した学生については、なお従前の例による。

附 則

1 本改正学則は、平成 26 年 4 月 1 日から施行する。ただし、別表 1 及び別表 2 の規定は、平成 25 年度以前の入学者については、なお従前の例による。

2 前項ただし書の規定にかかわらず、教育上有益と認めるときには、別表 1 に掲げる授業科目を平成 25 年度以前の入学者に履修させることができる。

附 則

1 本改正学則は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

1 本改正学則は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。ただし、別表 1 及び別表 2 の規定は、平成 27 年度以前の入学者については、なお従前の例による。

2 前項ただし書の規定にかかわらず、教育上有益と認めるときは、別表 1 に掲げる授業科目を平成 27 年度以前の入学者に履修させることができる。

3 第 1 項の規定にかかわらず、2 年次編入学の定員は平成 29 年度から、3 年次編入学の定員は平成 30 年度から適用する。

附 則

1 本改正学則は、平成 29 年 4 月 1 日から施行する。ただし、別表 1 及び別表 2 の規定は、平成

28 年度以前の入学者については、なお従前の例による。

- 2 前項ただし書の規定にかかわらず、教育上有益と認めるときは、別表 1 に掲げる授業科目を平成 28 年度以前の入学者に履修させることができる。
- 3 第 23 条第 1 項に規定する卒業要件のうち、GPAに係るもののみを満たしていない者があるときは、当分の間、教授会の議を経て卒業を認めることがある。

附 則

- 1 本改正学則は、平成 30 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

- 1 本改正学則は、平成 31 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 第 23 条については、平成 30 年度以前の入学生にも適用する。ただし、健康栄養学部、国際看護学部については、第 23 条に規定する卒業要件のうち、GPAに係るもののみを満たしていない者があるときは、当分の間、教授会の議を経て卒業を認めることができる。

附 則

- 1 本改正学則は、2020 年 4 月 1 日から施行する。ただし、別表 1 及び別表 2 の規定は、2019 年度以前の入学者については、なお従前の例による。

附 則

- 1 本改正学則は、2021 年 4 月 1 日から施行する。ただし、別表 1 及び別表 2 の規定は、2020 年度以前の入学者については、なお従前の例による。
- 2 2021 年 3 月 31 日にメディア・芸術学部メディア・芸術学科に在籍する者は、2021 年 4 月 1 日から建築&芸術学部建築&芸術学科の在籍とする。

附 則

- 1 本改正学則は、2022 年 4 月 1 日から施行する。ただし、別表 1 の規定は、2021 年度以前の入学者については、なお従前の例による。
- 2 2022 年 3 月 31 日に総合文化学部総合文化学科に在籍する者は、2022 年 4 月 1 日から国際日本学部国際日本学科の在籍とする。
- 3 第 1 項の但し書きの規定にかかわらず、教育上有益と認めるときは、別表 1 に掲げる授業科目を 2021 年度以前の入学者に履修させることができる。

附 則

- 1 本改正学則は、2023 年 4 月 1 日から施行する。ただし、別表 1 の規定は、2022 年度以前の入学者については、なお従前の例による。

附 則

- 1 本改正学則は、2024 年 4 月 1 日から施行する。ただし、別表 1 及び別表 2 の規定は、2023 年度以前の入学者については、なお従前の例による。

附 則

- 1 本改正学則は、2025 年 4 月 1 日から施行する。ただし、別表 1 及び別表 2 の規定は、2024 年度以前の入学者については、なお従前の例による。

附 則

- 1 本改正学則は、2026 年 4 月 1 日から施行する。ただし、別表 1 及び別表 2 の規定は、2025 年度以前の入学者については、なお従前の例による。

[別表1] 授業科目及び単位数

国際日本学部 国際日本学科

科目区分	授業科目	単位数			備考		
		必修	選択	自由			
総合科目	学びの道しるべA	2			必修科目について、特に必要があると認める場合には、履修を免除することがある。		
	学びの道しるべB	2					
	学びの道しるべC	2					
	学びの道しるべD	2					
	アカデミックスキルズ	2					
	未来への扉を拓く:自己発見とキャリア探求	2					
	未来への道を築く:仕事理解とキャリア形成	2					
	哲学		2				
	史学		2				
	数学		2				
	外国語科目	英語Ⅰ	1				※ ただし、外国人留学生は、「英語Ⅰ」に代えて「日本語総合AⅠ」、「日本語総合AⅡ」、「日本語総合BⅠ」、「日本語総合BⅡ」、「応用日本語Ⅰ」、「応用日本語Ⅱ」を必修とする。
		英語Ⅱ		1			
		ドイツ語Ⅰ		1			
		ドイツ語Ⅱ		1			
フランス語Ⅰ			1				
フランス語Ⅱ			1				
中国語Ⅰ			1				
中国語Ⅱ			1				
韓国語Ⅰ			1				
韓国語Ⅱ			1				
スペイン語Ⅰ			1				
スペイン語Ⅱ			1				
日本語総合AⅠ			1				
日本語総合AⅡ			1				
日本語総合BⅠ			1				
日本語総合BⅡ			1				
日本語語彙・文法Ⅰ			1				
日本語語彙・文法Ⅱ			1				
日本語聴解Ⅰ			1				
日本語聴解Ⅱ			1				
日本語会話Ⅰ			1				
日本語会話Ⅱ			1				
応用日本語Ⅰ			1				
応用日本語Ⅱ		1					
Basic Japanese Conversation		1					
目テ用情  と報 シプ機 ヨレ器 ンゼの 科ン活	情報活用Ⅰ	1					
	情報活用Ⅱ		1				
	表計算演習		2				
	AI・データサイエンスの扉		2				
	教養としてのAI・データ活用 教養としてのAI・データ活用(実践演習)		2 2				
ス ポ ー ツ ・ 健 康 科 目	保健体育		2				
	バレーボール		1				
	バスケットボール		1				
	バドミントン		1				
	軽スポーツ		1				
	レクリエーション&スポーツ		1				
	フィットネス&スポーツ		1				
	コミュニケーション・スポーツ		1				
	ヨーガ&ピラティス実習		1				
	健康ボディケア実習		1				
ボディワーク&コミュニケーション実習		1					
キ ャ リ ア ア ー	働くことへのアプローチ		2				
	就業体験のデザインと実践		2				
	ファシリテーター養成演習		4				
	Global Career Seminar A		2				

\* \*を付した科目は年度毎に内容が異なるため

[別表1] 授業科目及び単位数

	アップ 科目 目	Global Career Seminar B	2	履修ごとに単位を付与 する
		Global Career Seminar C	2	
		Global Career Seminar D	2	
		地域貢献PBL	2	*
		Community Development PBL(GJS)	2	
		Internship(GJS)	2	
		サービ斯拉ーニング	2	
		職業選択演習	2	
		職業選択演習 応用	2	
		留学生のためのビジネスマナー・作文	2	
専 攻 科 目	日 本 研 究 ・ ア ジ ア 研 究	日本文化・阪神文化	2	
		アジアの文化に親しむ	2	
		比較文化の基礎	2	
		日本語学入門	2	
		日本語表現法	2	
		日本語音声学・音韻論	2	
		日本語学研究	2	
		日本語学演習	2	
		日本文学入門	2	
		日本古典文学講読	2	
		日本の名作を読む	2	
		世界の中の日本文学	2	
		日本美術工芸史	2	
		日本研究特別講義(日本刀の文化史)	2	
		日本研究特別演習(名刀の魅力とその来歴)	2	
		日本近現代文学講読	2	
		日本近現代文学演習	2	
		美術から読み解く日本文化	2	
		工芸からみる日本文化	2	
		日本文学研究	2	
		日本文化史	2	
		日本文化研究	2	
		日本人の心とことば	2	
		日本古典文学演習	2	
		日本語教育概論Ⅰ	2	
		日本語教育概論Ⅱ	2	
		日本語教育における社会と文化	2	
		日本語教授法	2	
		外国人に教える日本語	2	
		社会言語学概論	2	
		多文化社会コミュニケーション論	2	
		日本語教育における言語と心理	2	
		日本語教材論	2	
		言語学概論	2	
		第二言語習得	2	
		日本語教育特講	1	
		日本語語用論	2	
		日本語教育実習	1	
		日本語・日本語教育実践演習	2	
		書道実技Ⅰ	1	
		書道実技Ⅱ	1	
		漢文学入門	2	
		中国の社会と文化	2	
		韓国の社会と文化	2	
		K-POPで学ぶ韓国言語文化	2	
		映画とドラマで学ぶ韓国言語文化	2	
		アジア文化の魅力	2	*
		東南アジアと南アジアの文化	2	
		アジア文化・文学研究	2	*

[別表Ⅰ] 授業科目及び単位数

	中国語演習Ⅰ	2	
	中国語演習Ⅱ	2	
	韓国語演習Ⅰ	2	
	韓国語演習Ⅱ	2	
	ゼミナールⅠ(日本とアジアの文化・文学)	2	
	ゼミナールⅠ(日本語・日本語教育)	2	
	ゼミナールⅡ(日本とアジアの文化・文学)	2	
	ゼミナールⅡ(日本語・日本語教育)	2	
	卒業研究(日本とアジアの文化・文学)	4	
	卒業研究(日本語・日本語教育)	4	
国際共生	国際文化とクールジャパン	2	*
	ヨーロッパの暮らしと楽しみ	2	
	ヨーロッパの地域と文化	2	
	イギリス・アメリカを考える	2	
	英米の社会と文化	2	
	英語の音声	2	
	英語の特性	2	
	英語コミュニケーション	2	
	英語プレゼンテーション	2	
	英米文化と翻訳	2	
	イギリスの歴史と文学	2	
	アメリカの歴史と文学	2	
	アメリカ人の国民性	2	
	アメリカの地域と文化	2	
	アメリカ文化研究	2	
	ヨーロッパ文化研究	2	
	クロスカルチュラル・スタディーズ	2	
	英語演習Ⅰ	2	
	英語演習Ⅱ	2	
	英語演習Ⅲ	2	
	英語演習Ⅳ	2	
	ドイツ語演習Ⅰ	2	
	ドイツ語演習Ⅱ	2	
	フランス語演習Ⅰ	2	
	フランス語演習Ⅱ	2	
	スペイン語演習Ⅰ	2	
	スペイン語演習Ⅱ	2	
	国境を超える発想	2	
	異文化コミュニケーション	2	
	日本のマイノリティ	2	
	国際NGOの活動	2	
	国際社会を知る	2	
	海外で学ぶ・働く・暮らす	2	
	海外ボランティア演習	2	
	地域からみる国際問題	2	
	海外援助技術論	2	
	マイノリティから見た世界	2	
	データで読み解く国際社会	2	
	日本で学ぶ・働く・暮らす	2	
	市民活動と国際社会	2	
	多文化共生社会を生きる	2	
	カフェ文化論	2	
	世界の食文化	2	
	スイーツ文化論	2	
	在住外国人支援を考える	2	
	ポップカルチャーと多文化共生	2	
	フィールドワーク	2	
	Beginner Listening PracticeⅠ	1	
	Beginner Listening PracticeⅡ	1	

[別表Ⅰ] 授業科目及び単位数

	Beginner Conversation I	1
	Beginner Conversation II	1
	Beginner Reading I	1
	Beginner Reading II	1
	Beginner Writing Practice I	1
	Beginner Writing Practice II	1
	Beginner Grammar I	1
	Beginner Grammar II	1
	Academic English Studies I	1
	Academic English Studies II	1
	Basic Listening Skills I	2
	Basic Listening Skills II	2
	Basic Writing Skills I	2
	Basic Writing Skills II	2
	Basic 4-Skills English I	2
	Basic 4-Skills English II	2
	Basic Speaking Skills I	2
	Basic Speaking Skills II	2
	Basic Vocabulary I	2
	Basic Vocabulary II	2
	Intermediate Reading I	2
	Intermediate Reading II	2
	Intermediate TEFL Skills I	2
	Intermediate TEFL Skills II	2
	Intermediate Presentation I	2
	Intermediate Presentation II	2
	Intermediate Media Studies I	2
	Intermediate Media Studies II	2
	Intermediate 4-Skills English I	2
	Intermediate 4-Skills English II	2
	Advanced Reading I	2
	Advanced Reading II	2
	Advanced Writing I	2
	Advanced Writing II	2
	Advanced Presentation I	2
	Advanced Presentation II	2
	Advanced Vocabulary & Note-taking I	2
	Advanced Vocabulary & Note-taking II	2
	Advanced Discussion I	2
	Advanced Discussion II	2
	ゼミナールⅠ(多文化共生)	2
	ゼミナールⅠ(英語国際コミュニケーション)	2
	ゼミナールⅠ(国際関係学)	2
	ゼミナールⅡ(多文化共生)	2
	ゼミナールⅡ(英語国際コミュニケーション)	2
	ゼミナールⅡ(国際関係学)	2
	卒業研究(多文化共生)	4
	卒業研究(英語国際コミュニケーション)	4
	卒業研究(国際関係学)	4
史学	日本史の扉	2
	日本中世史講義	2
	日本近世史講義	2
	日本近代史講義	2
	多文化共生のための歴史:講義	2
	宗教文化史	2
	日本中世史基礎演習	2
	日本近世史基礎演習	2
	日本近代史基礎演習	2
	多文化共生のための歴史:基礎演習	2

[別表1] 授業科目及び単位数

古文書学入門	2	
古文書演習入門	2	
古文書演習応用	2	
戦国時代論	2	
江戸時代論	2	
二つの大戦と日本社会	2	
日本史特殊講義	2	
日本史特殊研究	2	
日本史総合講義	2	
日本史総合研究	2	
東洋史の扉	2	
東洋史入門	2	*
東洋古代中世史講義	2	
東洋近世近代史講義	2	
アジア史論	2	
東洋交流文化史	2	
東洋史研究	2	*
西洋史の扉	2	
西洋史入門	2	
西洋史講義	2	
ヨーロッパ史論	2	
西洋史研究	2	*
東洋史基礎演習	2	*
西洋史基礎演習	2	*
西洋史研究の歩み	2	
東洋史総合講義	2	
西洋史総合講義	2	
考古学の扉	2	
考古学入門	2	
日本古代史基礎演習	2	
日本古代史講義	2	
歴史遺産学	2	
考古学研究法	2	
風土記と考古学(日本古代史)	2	
文化財科学	2	
考古学からみる信仰と祭りの日本史	2	
考古学実習	2	*
古墳研究	2	
地域文化財実習	2	*
考古学総合講義	2	
考古学総合研究	2	*
地理学の扉	2	
地域研究のすすめ	2	
現代の都市問題(人文地理学)	2	
都市災害と防災(自然地理学)	2	
アジアの都市づくり(地誌学)	2	
日本近代の都市	2	
GIS入門	2	
GIS応用	2	
まちづくり入門	2	
地域環境とエコロジー	2	*
地域研究の方法	2	*
まちづくり研究の方法	2	*
野外調査研究の方法	2	*
地理学総合講義(環境研究)	2	
地理学総合研究(災害・防災研究)	2	
ゼミナールⅠ(日本史)	2	
ゼミナールⅠ(東洋史・西洋史)	2	
ゼミナールⅠ(考古学・地理学)	2	

[別表1] 授業科目及び単位数

	ゼミナールⅡ(日本史)		2	
	ゼミナールⅡ(東洋史・西洋史)		2	
	ゼミナールⅡ(考古学・地理学)		2	
	卒業研究(日本史)		4	
	卒業研究(東洋史・西洋史)		4	
	卒業研究(考古学・地理学)		4	
スポーツ マ ネ ジ メ ン ト	スポーツ強化演習Ⅰ		6	
	スポーツ強化演習Ⅱ		6	
	スポーツ強化演習Ⅲ		6	
	スポーツ強化演習Ⅳ		6	
	スポーツ強化演習Ⅴ		6	
	スポーツ強化演習Ⅵ		6	
	パーパス&バリュー		2	
	ストラテジー		2	
	オーガニゼーション		2	
	ネゴシエーション		2	
	ゼミナールⅠ(スポーツマネジメント)		2	
	ゼミナールⅡ(スポーツマネジメント)		2	
	卒業研究(スポーツマネジメント)		4	
総合 研 究	研究・制作Ⅰ		2	
	研究・制作Ⅱ		2	
	研究・制作Ⅲ		2	
	研究・制作Ⅳ		2	
	国際日本学部PBL演習		2	*
資 格 課 程 科 目	教職論		2	
	教育原理		2	
	発達心理学		2	
	教育・学校心理学		2	
	学校制度		2	
	教育課程論		2	
	国語科教育法Ⅰ		2	
	国語科教育法Ⅱ		2	
	国語科教育法Ⅲ		2	
	国語科教育法Ⅳ		2	
	社会科教育法Ⅰ		2	
	社会科教育法Ⅱ		2	
	社会科教育法Ⅲ		2	
	社会科教育法Ⅳ		2	
	地理歴史科教育法Ⅰ		2	
	地理歴史科教育法Ⅱ		2	
	英語科教育法Ⅰ		2	
	英語科教育法Ⅱ		2	
	英語科教育法Ⅲ		2	
	英語科教育法Ⅳ		2	
	道徳教育指導論		2	
	特別活動論		2	
	教育の方法及び技術(情報通信技術の活用含む)		2	
	生徒・進路指導論		2	
	教育相談		2	
	教育実習A		2	
	教育実習B		2	
	教育実習指導Ⅰ		1	
	教育実習指導Ⅱ		1	
	特別支援教育概論		1	
	総合的な学習の時間指導法		1	
	教職実践演習(中・高)		2	
	介護等体験事前事後学習		2	
学校体験活動		2		
図書館概論		2		

[別表1] 授業科目及び単位数

	図書館サービス概論	2		
	図書・図書館史	2		
	図書館情報資源概論	2		
	情報資源組織論	2		
	生涯学習概論	2		
	図書館制度・経営論	2		
	情報資源組織演習Ⅰ	1		
	情報資源組織演習Ⅱ	1		
	図書館情報資源特論	2		
	図書館情報技術論	2		
	児童サービス論	1		
	情報サービス論	2		
	情報サービス演習Ⅰ	1		
	情報サービス演習Ⅱ	1		
	図書館基礎特論	2		
	視聴覚メディア論	2		
	博物館概論	2		
	博物館経営論	2		
	博物館資料論	2		
	博物館情報・メディア論	2		
	博物館資料保存論	2		
	博物館展示論	2		
	博物館教育論	2		
	博物館実習	3		
その他の科目	Japanese Ethnicity and Culture(GJS)	2		
	Introduction to Japanology(GJS)	2		
	Philosophy and Society(GJS)	2		
	Principles of Tourism(GJS)	2		
	Tourism Geography(GJS)	2		
	English and Globalization(GJS)	2		
	Comparative Studies of the US and Japan(GJS)	2		
	English as a Tool of Communication(GJS)	2		
	Race, Culture, and Religion(GJS)	2		
	International Peace Studies(GJS)	2		
	Historical and Cultural Diversity(GJS)	2		
	Japanese Soft Power(GJS)	2		
	Music and Culture(GJS)	2		
	English Education(GJS)	2		
	Management Strategy(GBS)	2		
	Basic Marketing Theory(GBS)	2		
	Administrative Management(GBS)	2		
	General Business Administration(GBS)	2		
	Business Planning Basic(GBS)	2		
	哲学と社会	2		
倫理学	2			
国際日本特別講義	2		*	
国際日本特別演習	2		*	
国際日本ミラステップ演習		2	*	
国際日本学部 卒業要件	・総合科目から必修科目を含め16単位以上 ・専攻科目から主専攻1つ以上 ・「ゼミナールⅠ」及び「ゼミナールⅡ」並びに「卒業研究」計8単位 ・上記要件を満たした上で、総合計124単位以上			

[別表1] 授業科目及び単位数

建築&芸術学部 建築&芸術学科

科目区分	授業科目	単位数			備考		
		必修	選択	自由			
総合科目	学びの道しるべA	2			必修科目について、特に必要があると認める場合には、履修を免除することがある。		
	学びの道しるべB	2					
	学びの道しるべC	2					
	学びの道しるべD	2					
	アカデミックスキルズ	2					
	未来への扉を拓く:自己発見とキャリア探求	2					
	未来への道を築く:仕事理解とキャリア形成	2					
	哲学		2				
	史学		2				
	数学		2				
	外国語科目	英語Ⅰ	1				※ ただし、外国人留学生は、「英語Ⅰ」に代えて「日本語総合AⅠ」、「日本語総合AⅡ」、「日本語総合BⅠ」、「日本語総合BⅡ」、「応用日本語Ⅰ」、「応用日本語Ⅱ」を必修とする。
		英語Ⅱ		1			
		ドイツ語Ⅰ		1			
		ドイツ語Ⅱ		1			
フランス語Ⅰ			1				
フランス語Ⅱ			1				
中国語Ⅰ			1				
中国語Ⅱ			1				
韓国語Ⅰ			1				
韓国語Ⅱ			1				
スペイン語Ⅰ			1				
スペイン語Ⅱ			1				
日本語総合AⅠ			1				
日本語総合AⅡ			1				
日本語総合BⅠ			1				
日本語総合BⅡ			1				
日本語語彙・文法Ⅰ			1				
日本語語彙・文法Ⅱ			1				
日本語聴解Ⅰ			1				
日本語聴解Ⅱ			1				
日本語会話Ⅰ			1				
日本語会話Ⅱ			1				
応用日本語Ⅰ			1				
応用日本語Ⅱ		1					
Basic Japanese Conversation		1					
目テ用情  と報 シプ機 ヨレ器 ンゼの 科ン活	情報活用Ⅰ	1					
	情報活用Ⅱ		1				
	表計算演習		2				
	AI・データサイエンスの扉		2				
	教養としてのAI・データ活用		2				
教養としてのAI・データ活用(実践演習)		2					
ス ポ ー ツ ・ 健 康 科 目	保健体育		2				
	バレーボール		1				
	バスケットボール		1				
	バドミントン		1				
	軽スポーツ		1				
	レクリエーション&スポーツ		1				
	フィットネス&スポーツ		1				
	コミュニケーション・スポーツ		1				
	ヨーガ&ピラティス実習		1				
	健康ボディケア実習		1				
ボディワーク&コミュニケーション実習		1					
キ ャ リ ア ア ー	働くことへのアプローチ		2				
	就業体験のデザインと実践		2				
	ファシリテーター養成演習		4				
	Global Career Seminar A		2				

\* \*を付した科目は年度毎に内容が異なるため

[別表1] 授業科目及び単位数

	アップ 科目	Global Career Seminar B	2	履修ごとに単位を付与 する  *	
		Global Career Seminar C	2		
		Global Career Seminar D	2		
		地域貢献PBL	2		
		Community Development PBL(GJS)	2		
		Internship(GJS)	2		
		サービ斯拉ーニング	2		
		職業選択演習	2		
		職業選択演習 応用	2		
		留学生のためのビジネスマナー・作文	2		
専 攻 科 目	デ ザ イ ン ・ 造 形 美 術	デザイン・造形美術入門Ⅰ	2		
		デザイン・造形美術入門Ⅱ	2		
		CG基礎演習	2		
		デッサンⅠ	2		
		デッサンⅡ	2		
		絵画基礎Ⅰ	2		
		絵画基礎Ⅱ	2		
		絵画表現Ⅰ	2		
		絵画表現Ⅱ	2		
		絵画技法研究Ⅰ	2		
		絵画技法研究Ⅱ	2		
		表現技法Ⅰ	2		
		表現技法Ⅱ	2		
		立体造形基礎Ⅰ	2		
		立体造形基礎Ⅱ	2		
		立体造形技法Ⅰ	2		
		立体造形技法Ⅱ	2		
		彫刻表現Ⅰ	2		
		彫刻表現Ⅱ	2		
		アート体験	2		
		立体造形展開	2		
		染色工芸基礎Ⅰ	2		
		染色工芸基礎Ⅱ	2		
		染色工芸技法Ⅰ	2		
		染色工芸技法Ⅱ	2		
		染色工芸表現Ⅰ	2		
		染色工芸表現Ⅱ	2		
		染色工芸展開Ⅰ	2		
		染色工芸展開Ⅱ	2		
		デザイン基礎Ⅰ	2		
		デザイン基礎Ⅱ	2		
		ビジュアルデザイン表現Ⅰ	2		
		ビジュアルデザイン表現Ⅱ	2		
		ビジュアルデザイン技法研究Ⅰ	2		
		ビジュアルデザイン技法研究Ⅱ	2		
		ビジュアルデザイン展開Ⅰ	2		
		ビジュアルデザイン展開Ⅱ	2		
		インタラクティブアート基礎	2		
		インタラクティブアート応用	2		
		インタラクティブアート展開	2		
		インタラクティブアート アートプログラム	2		
		日本美術史	2		
		西洋美術史	2		
東洋美術史	2				
美術館と社会	2				
芸術学	2				
デザイン論	2				
工芸論	2				
現代芸術論	2				

[別表1] 授業科目及び単位数

	美を考える		2	
	ゼミナールⅠ(デザイン・造形美術)		2	
	ゼミナールⅡ(デザイン・造形美術)		2	
	卒業制作(デザイン・造形美術)		4	
マンガ・アニメーション	描画入門(クロッキー/スケッチ)Ⅰ		2	
	描画入門(クロッキー/スケッチ)Ⅱ		2	
	マンガ制作入門Ⅰ		2	
	マンガ制作入門Ⅱ		2	
	マンガ概論Ⅰ		2	
	マンガ概論Ⅱ		2	
	マンガ表現Ⅰ		2	
	マンガ表現Ⅱ		2	
	マンガ技法Ⅰ		2	
	マンガ技法Ⅱ		2	
	デジタルイラストレーションⅠ		2	
	デジタルイラストレーションⅡ		2	
	コミック・メディア制作研究Ⅰ		2	
	コミック・メディア制作研究Ⅱ		2	
	メディア文化論Ⅰ		2	
	メディア文化論Ⅱ		2	
	コミック・イラストレーションⅠ		2	
	コミック・イラストレーションⅡ		2	
	デジタルマンガ制作Ⅰ		2	
	デジタルマンガ制作Ⅱ		2	
	マンガ表現研究Ⅰ		2	
	マンガ表現研究Ⅱ		2	
	マンガ演習Ⅰ		2	
	マンガ演習Ⅱ		2	
	映像アニメーション入門Ⅰ		2	
	映像アニメーション入門Ⅱ		2	
	アニメーション技術入門(描画)		2	
	アニメーション技術入門(3DCG)		2	
	映像理論と実習Ⅰ		2	
	映像理論と実習Ⅱ		2	
	映像実習Ⅰ		2	
	映像実習Ⅱ		2	
	描画アニメーション制作Ⅰ		2	
	描画アニメーション制作Ⅱ		2	
	サウンドデザインⅠ		2	
	サウンドデザインⅡ		2	
	3DCGアニメーション基礎Ⅰ		2	
	3DCGアニメーション基礎Ⅱ		2	
	アニメーション演習Ⅰ		2	
	アニメーション演習Ⅱ		2	
	3DCGアニメーション演習Ⅰ		2	
	3DCGアニメーション演習Ⅱ		2	
	撮影実習Ⅰ		2	
	撮影実習Ⅱ		2	
プロジェクト・プロデュース論Ⅰ		2		
プロジェクト・プロデュース論Ⅱ		2		
ゼミナールⅠ(マンガ制作)		2		
ゼミナールⅠ(映像・アニメーション)		2		
ゼミナールⅡ(マンガ制作)		2		
ゼミナールⅡ(映像・アニメーション)		2		
卒業制作(マンガ制作)		4		
卒業制作(映像・アニメーション)		4		
映画・山	映画・演劇入門Ⅰ		2	
	映画・演劇入門Ⅱ		2	
	映画の基礎		2	*

[別表1] 授業科目及び単位数

演劇	映画と原作	2	*
	映画の歴史	2	
	映画作品ワークショップ	2	
	演劇学概論	2	
	演劇制作ワークショップ	2	
	演劇の歴史	2	
	パフォーマンス・ワークショップ	2	
	ポピュラー音楽の基礎	2	
	音楽と文化	2	
	物語と音楽	2	
	音楽文化ワークショップ	2	
	戯曲と演出	2	
	演技実習基礎	2	
	演技実習応用	2	
	音響・照明・美術	2	
	舞台監督・制作	2	
	ゼミナールⅠ(映画・演劇)	2	
	ゼミナールⅡ(映画・演劇)	2	
	卒業研究(映画・演劇)	4	
	建築・インテリア	建築・インテリア総論	
基礎製図演習Ⅰ		2	
基礎製図演習Ⅱ		2	
基礎CAD演習		2	
建築計画Ⅰ		2	
建築計画Ⅱ		2	
建築計画Ⅲ		2	
設計製図演習Ⅰ		2	
設計製図演習Ⅱ		2	
設計製図演習Ⅲ		2	
設計製図演習Ⅳ		2	
建築・インテリア環境論		2	
温熱・風の環境		2	
光・色・音の環境		2	
建築の安全と設備		2	
建築設備		2	
建築構造概論		2	
構造力学の基礎		2	
建築材料学		2	
住居学		2	
日本建築史		2	
東洋建築史・西洋建築史		2	
インテリアデザインの基礎		2	
建築・インテリアパース演習		2	
建築模型演習		2	
CAD演習Ⅰ		2	
CAD演習Ⅱ		2	
CAD演習Ⅲ		2	
都市計画・都市防災論		2	
住まいの歴史		2	
インテリア計画		2	
インテリアCAD		2	
建築構造力学Ⅰ		2	
建築構造力学Ⅱ		2	
建築構造Ⅰ		2	
建築構造Ⅱ		2	
建築施工(含積算)		2	
建築材料実験		2	
建築法規		2	
空間デザイン演習Ⅰ		2	

[別表1] 授業科目及び単位数

	空間デザイン演習Ⅱ		2	
	空間デザイン論		2	
	ゼミナールⅠ(建築/インテリアデザイン)		2	
	ゼミナールⅡ(建築/インテリアデザイン)		2	
	卒業研究(建築)		4	
	卒業研究(インテリアデザイン)		4	
総合研究	研究・制作Ⅰ		2	
	研究・制作Ⅱ		2	
	研究・制作Ⅲ		2	
	研究・制作Ⅳ		2	
	建築&芸術学部PBL演習		2	*
資格課程科目	教職論		2	
	教育原理		2	
	発達心理学		2	
	教育・学校心理学		2	
	学校制度		2	
	教育課程論		2	
	美術科教育法Ⅰ		2	
	美術科教育法Ⅱ		2	
	美術科教育法Ⅲ		2	
	美術科教育法Ⅳ		2	
	工芸科教育法Ⅰ		2	
	工芸科教育法Ⅱ		2	
	道徳教育指導論		2	
	特別活動論		2	
	教育の方法及び技術(情報通信技術の活用含む)		2	
	生徒・進路指導論		2	
	教育相談		2	
	教育実習A		2	
	教育実習B		2	
	教育実習指導Ⅰ		1	
	教育実習指導Ⅱ		1	
	教職実践演習(中・高)		2	
	特別支援教育概論		1	
総合的な学習の時間指導法		1		
介護等体験事前事後学習		2		
学校体験活動		2		
科他そのものの	建築&芸術特別講義		2	*
	建築&芸術特別演習		2	*
建築&芸術学部卒業要件	・総合科目から必修科目を含め16単位以上 ・専攻科目から主専攻1つ以上 ・「ゼミナールⅠ」及び「ゼミナールⅡ」並びに「卒業研究」若しくは「卒業制作」計8単位 ・上記要件を満たした上で、総合計124単位以上			

[別表1] 授業科目及び単位数

現代社会学部 現代社会学科

科目区分	授業科目	単位数			備考
		必修	選択	自由	
総合科目	学びの道しるべA	2			必修科目について、特に必要があると認める場合には、履修を免除することがある。
	学びの道しるべB	2			
	学びの道しるべC	2			
	学びの道しるべD	2			
	アカデミックスキルズ	2			
	未来への扉を拓く:自己発見とキャリア探求	2			
	未来への道を築く:仕事理解とキャリア形成	2			
	哲学		2		
	史学		2		
	数学		2		
	外国語科目	英語Ⅰ	1		
英語Ⅱ			1		
ドイツ語Ⅰ			1		
ドイツ語Ⅱ			1		
フランス語Ⅰ			1		
フランス語Ⅱ			1		
中国語Ⅰ			1		
中国語Ⅱ			1		
韓国語Ⅰ			1		
韓国語Ⅱ			1		
スペイン語Ⅰ			1		
スペイン語Ⅱ			1		
日本語総合AⅠ			1		
日本語総合AⅡ			1		
日本語総合BⅠ			1		
日本語総合BⅡ			1		
日本語語彙・文法Ⅰ			1		
日本語語彙・文法Ⅱ			1		
日本語聴解Ⅰ			1		
日本語聴解Ⅱ			1		
日本語会話Ⅰ			1		
日本語会話Ⅱ			1		
応用日本語Ⅰ			1		
応用日本語Ⅱ		1			
Basic Japanese Conversation		1			
目テ用情  と報 シプ機 ヨレ器 ンゼの 科ン活	情報活用Ⅰ	1			
	情報活用Ⅱ		1		
	表計算演習		2		
	AI・データサイエンスの扉		2		
	教養としてのAI・データ活用 教養としてのAI・データ活用(実践演習)		2 2		
ス ポ ー ツ ・ 健 康 科 目	保健体育		2		
	バレーボール		1		
	バスケットボール		1		
	バドミントン		1		
	軽スポーツ		1		
	レクリエーション&スポーツ		1		
	フィットネス&スポーツ		1		
	コミュニケーション・スポーツ		1		
	ヨーガ&ピラティス実習		1		
	健康ボディケア実習 ボディワーク&コミュニケーション実習		1 1		
キ ャ リ ア ア ー	働くことへのアプローチ		2		
	就業体験のデザインと実践		2		
	ファシリテーター養成演習		4		
	Global Career Seminar A		2		

\* \*を付した科目は年度毎に内容が異なるため



[別表Ⅰ] 授業科目及び単位数

	心理学統計法Ⅰ	2
	心理学統計法Ⅱ	2
	心理学実験Ⅰ	2
	心理学実験Ⅱ	2
	知覚・認知心理学	2
	学習・言語心理学	2
	感情・人格心理学	2
	神経・生理心理学	2
	社会・集団・家族心理学	2
	発達心理学	2
	障害者・障害児心理学	2
	心理的アセスメント	2
	心理学的支援法	2
	青年心理学	2
	健康・医療心理学	2
	福祉心理学	2
	教育・学校心理学	2
	司法・犯罪心理学	2
	産業・組織心理学	2
	精神分析学	2
	カウンセリング心理学	2
	人間関係論	2
	文化心理学	2
	人体の構造と機能及び疾病	2
	精神疾患とその治療	2
	心理演習	2
	心理学特殊講義	2
	ゼミナールⅠ(心理学)	2
	ゼミナールⅡ(心理学)	2
	卒業研究(心理学)	4
情報 ・ コン ピ ュー タ	IT入門	2
	データ構造とアルゴリズム	2
	Web技術	2
	プログラミング演習Ⅰ	2
	プログラミング演習Ⅱ	2
	マルチメディア技術	2
	情報システム論Ⅰ	2
	情報システム論Ⅱ	2
	情報システム論Ⅲ	2
	情報システム論Ⅳ	2
	情報システム論Ⅴ	2
	ネットワーク技術	2
	情報セキュリティ技術	2
	エンジニアのためのキャリアデザイン	2
	情報数学	2
	人工知能基礎論	2
	人工知能応用論	2
	データベース技術Ⅰ	2
	データベース技術Ⅱ	2
	アプリケーション開発Ⅰ	2
	アプリケーション開発Ⅱ	2
	ゲーム開発	2
	モバイルアプリ開発	2
	バーチャルリアリティ技術	2
	IoTとクラウドコンピューティング	2
	システム設計	2
	プロジェクトマネジメント	2
情報実践特講Ⅰ	2	
情報実践特講Ⅱ	2	

[別表Ⅰ] 授業科目及び単位数

	ゼミナールⅠ(情報・コンピュータ)		2	
	ゼミナールⅡ(情報・コンピュータ)		2	
	卒業研究(情報・コンピュータ)		4	
メディア・社会学	社会学入門		2	
	文化社会学		2	
	情報社会学		2	
	家族社会学		2	
	地域社会学		2	
	社会学特論		2	
	国際社会学		2	
	社会調査法入門		2	
	データサイエンス・リテラシー		2	
	社会統計法Ⅰ		2	
	社会統計法Ⅱ		2	
	質的調査法		2	
	情報メディアと社会		2	
	ポピュラーカルチャー研究		2	
	メディア・コンテンツ産業論		2	
	メディア・コンテンツと地域		2	
	イメージと物語		2	
	モビリティ・スタディーズ		2	
	メディア・社会デザイン演習Ⅰ		2	
	メディア・社会デザイン演習Ⅱ		2	
	メディア学入門		2	
	メディアコミュニケーション論		2	
	放送メディア論		2	
	出版メディア論		2	
	ジャーナリズム論		2	
	デジタルメディア論		2	
	情報メディア史		2	
	ドキュメンタリー論		2	
	メディア特論		2	
	ゼミナールⅠ(メディア・社会学)		2	
	ゼミナールⅡ(メディア・社会学)		2	
	卒業研究(メディア・社会学)		2	
総合研究	研究・制作Ⅰ		2	
	研究・制作Ⅱ		2	
	研究・制作Ⅲ		2	
	研究・制作Ⅳ		2	
	現代社会学部PBL演習		2	*
資格科目課	公認心理師の職責		2	
	関係行政論		2	
	心理実習		2	
その他の科目	法学		2	
	日本国憲法		2	
	民法Ⅰ		2	
	民法Ⅱ		2	
	行政法		2	
	社会を知る		2	
	経済学A		2	
	経済学B		2	
	数学応用Ⅰ		2	
	数学応用Ⅱ		2	
	行政実務特修		2	
	公務サービス実務リレー講義		2	
	キャリア・マネジメント・ベーシック		2	
	現代社会特別講義		2	*
	現代社会特別演習		2	*
	行政・公務サービス実務特別演習		2	*
			2	*

[別表1] 授業科目及び単位数

現代社会学部 卒業要件	・総合科目から必修科目を含め16単位以上 ・専攻科目から主専攻1つ以上 ・「ゼミナールⅠ」及び「ゼミナールⅡ」並びに「卒業研究」計8単位 ・上記要件を満たした上で、総合計124単位以上
----------------	---

[別表1] 授業科目及び単位数

健康栄養学部 管理栄養学科

科目区分	授業科目	単位数			備考
		必修	選択	自由	
総合科目	ベ ー シ ツ ク 科 目	キャリアデザインⅠ	2		必修科目について、特に必要があると認める場合には、履修を免除することがある。
		キャリアデザインⅡ	2		
		キャリアデザインⅢ	2		
		キャリアデザインⅣ	2		
		情報活用Ⅰ	1		
		情報活用Ⅱ		1	
		AI・データサイエンスの扉		2	
		教養としてのAI・データ活用		2	
		教養としてのAI・データ活用(実践演習)		2	
		哲学		2	
		史学		2	
		法学		2	
		数学		2	
外国語科目		英語Ⅰ	1		
		英語Ⅱ		1	
		ドイツ語Ⅰ		1	
		ドイツ語Ⅱ		1	
		フランス語Ⅰ		1	
		フランス語Ⅱ		1	
		中国語Ⅰ		1	
		中国語Ⅱ		1	
		韓国語Ⅰ		1	
		韓国語Ⅱ		1	
目スポーツ・健康科		保健体育		2	
		バレーボール		1	
		バスケットボール		1	
		軽スポーツ		1	
		ヨーガ&ピラティス実習		1	
		健康ボディケア実習		1	
		ボディワーク&コミュニケーション実習		1	
		コミュニケーション・スポーツ		1	
共通専門科目		日本文化・阪神文化		2	
		アジアの文化に親しむ		2	
		異文化コミュニケーション		2	
		国境を超える発想		2	
		日本史の扉		2	
		東洋史の扉		2	
		西洋史の扉		2	
		考古学の扉		2	
		地理学の扉		2	
		情報メディアと社会		2	
		メディア学入門		2	
		映画・演劇入門Ⅰ		2	
		映画・演劇入門Ⅱ		2	
		日本国憲法		2	
		働くことを考える		2	
		観光の道しるべ		2	
		世界遺産を学ぶ		2	
		自分探しの心理学		2	
		映画で学ぶこころの世界		2	
		建築・インテリア総論		2	
IT入門		2			
社会連携演習		2			
				*	
専攻科	野基礎導	管理栄養士入門	2		
		栄養学・食品学を学ぶための化学		2	
		栄養学・食品学を学ぶための生物学		2	

[別表1] 授業科目及び単位数

目	入分	細胞生物学		2		
		栄養学・食品学を学ぶための統計学		2		
専門基礎分野	健康社会と	健康管理概論	2			
		公衆衛生学Ⅰ	2			
		公衆衛生学Ⅱ	2			
	疾病の成り立ち	人体の構造と機能及び	運動生理学	2		
			生化学Ⅰ	2		
			生化学Ⅱ	2		
			生化学実験Ⅰ	1		
			生化学実験Ⅱ	1		
			病理学	2		
			微生物学	2		
			解剖生理学Ⅰ	2		
			解剖生理学Ⅱ	2		
			解剖生理学実験Ⅰ	1		
	解剖生理学実験Ⅱ	1				
	食べ物と健康		食品学総論	2		
			食品学各論	2		
			化学基礎実験	1		
			食品学実験	1		
			食品加工学	2		
			食品加工学実習	1		
			食品衛生学	2		
			食品衛生学実験	1		
			調理学	2		
			調理学実習Ⅰ	1		
	調理学実習Ⅱ	1				
	専門分野	基礎栄養学	基礎栄養学Ⅰ	2		
			基礎栄養学Ⅱ	2		
基礎栄養学実験			1			
応用栄養学			食事摂取基準論	2		
			応用栄養学	2		
			運動栄養学	2		
			応用栄養学実習	1		
栄養教育論			栄養教育論Ⅰ	2		
			栄養教育論Ⅱ	2		
			栄養教育論Ⅲ	2		
			栄養教育論実習Ⅰ	1		
			栄養教育論実習Ⅱ	1		
臨床栄養学			臨床栄養学Ⅰ	2		
			臨床栄養学Ⅱ	2		
			臨床栄養学Ⅲ	2		
			臨床栄養学Ⅳ	2		
			臨床栄養学実習Ⅰ	1		
			臨床栄養学実習Ⅱ	1		
公衆栄養学			公衆栄養学Ⅰ	2		
			公衆栄養学Ⅱ	2		
			公衆栄養学実習	1		
給食経営管理論			給食経営管理論Ⅰ	2		
			給食経営管理論Ⅱ	2		
			給食経営管理実習Ⅰ	1		
			給食経営管理実習Ⅱ	1		
総合演習			総合演習Ⅰ	1		
			総合演習Ⅱ	1		
	総合演習Ⅲ		1			
臨地実		臨地校外実習Ⅰ(給食の運営・給食経営管理論)	1			
		臨地校外実習Ⅱ(公衆栄養学)	1			
		臨地校外実習Ⅲ(臨床栄養学)	2			
発		外書講読Ⅰ		1		

[別表1] 授業科目及び単位数

展 分 野	外書購読Ⅱ		1		
	機器分析論		1		
	管理栄養士特論		1		
	症例実務演習		1		
	薬理学		1		
	商品開発論		1		
	調理学実習Ⅲ		1		
	スポーツ栄養論		1		
	NR・SA特講		2		
	フードスペシャリスト論		2		
	フードマネジメント論		2		
	フードコーディネイト論		2		
	登録販売者対策		2		
	応用セミナーⅠ	1			
	応用セミナーⅡ	1			
	応用セミナーⅢ	1			
	応用セミナーⅣ	1			
	特別演習Ⅰ		2		
	特別演習Ⅱ		2		
	特別演習Ⅲ	2			
	特別演習Ⅳ	2			
管理栄養士特講Ⅰ		2		} 4単位必修	
管理栄養士特講Ⅱ		2			
卒業研究		4			
栄 養 教 諭 養 成 科 目	教職論		2		
	教育原理		2		
	教育・学校心理学		2		
	学校制度		2		
	教育課程論		2		
	教育の方法及び技術(情報通信技術の活用含む)		2		
	生徒指導論		2		
	教育相談		2		
	栄養教育実習指導		1		
	栄養教育実習		1		
	特別支援教育概論		1		
	道徳・総合的な学習の時間・特別活動論		2		
	教職実践演習(栄養教諭)		2		
	栄養教諭論Ⅰ		2		
栄養教諭論Ⅱ		2			
健康栄養学部 卒業要件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合科目から必修科目を含め10単位以上</li> <li>・専攻科目から必修科目98単位を含む102単位以上</li> <li>・上記要件を満たした上で、総合計124単位以上</li> <li>・入学時からの通算GPA1.5以上</li> </ul>				

[別表1] 授業科目及び単位数

国際看護学部 看護学科

科目区分		授業科目	単位数			備考	
			必修	選択	自由		
総合科目	基礎分野	ツリベラルアーツ	キャリアプランニングⅠ キャリアプランニングⅡ 生命・医療倫理 哲学入門 法学の基礎 国際社会学	1 1 1 1 1 1			必修科目について、特に必要があると認める場合には、履修を免除することがある。  ※  いずれか1単位  いずれか1単位  ※ 「リベラルアーツ」区分および「グローバル社会と文化」区分の選択科目から合計3単位以上
		グローバル社会と言葉	Practical English I for Nurses Practical English II for Nurses Academic Writing & Debate Student-friendly English for nursing English for healthcare careers 看護のための中国語 看護のための韓国語 Basic Communication in Global Context Listening & Speaking in a Global Society	1 1 1 1 1 1 1 1			
	文化社会とバ	大阪・神戸における多様な共生社会と文化 医療人類学 情報倫理 国際政治・経済	1 2 1 1				
	科学と情報	化学・生化学 生物学・細胞生物学 情報活用Ⅰ 情報活用Ⅱ(含医療情報の統計学) AI・データサイエンスの扉 教養としてのAI・データ活用 教養としてのAI・データ活用(実践演習)	2 2 1 1 2 2 2				
	アルツクスフォトボケセイ	スポーツ生理学 スポーツと健康	1 1				
	専門基礎分野	能人の構造と機能	解剖生理学Ⅰ 解剖生理学Ⅱ 病態生理学 薬理学 微生物学・医動物 臨床栄養学	2 2 2 2 1 1			
専攻科目	回復の促進立ちと	病態学Ⅰ(呼吸器・循環器) 病態学Ⅱ(栄養代謝) 病態学Ⅲ(造血・免疫) 病態学Ⅳ(脳・神経・感覚) 病態学Ⅴ(運動) 病態学Ⅵ(内部環境調節・性・生殖) 疾病と治療	1 1 1 1 1 1 1				
		障と健康度社会支援	公衆衛生 社会福祉と社会保障 医療関係法規	2 2 2			
	シニと他者コミュニケーション	看護のためのコミュニケーション論 カウンセリングスキル 感覚多様性探求	2 2 2				
	専門分野	基礎看護学	看護学概論 グローバルヘルスと看護 基礎看護方法論Ⅰ(含医療安全) 基礎看護方法論Ⅱ(含看護管理) 基礎看護技術Ⅰ 基礎看護技術Ⅱ 基礎看護技術Ⅲ 基礎看護技術Ⅳ 看護過程	1 1 2 1 1 1 1 1 1			

[別表1] 授業科目及び単位数

		基礎看護学実習Ⅰ	1		
		基礎看護学実習Ⅱ	1		
		基礎看護学実習Ⅲ	2		
	成人看護学	成人看護学概論	2		
		急性看護援助論Ⅰ	1		
		急性看護援助論Ⅱ	1		
		急性看護学実習	2		
		がんの多様性と看護	1		
		慢性看護援助論Ⅰ	1		
		慢性看護援助論Ⅱ	1		
		慢性看護学実習	2		
	生涯発達看護学	母性健康看護学概論	1		
		多様性とウィメンズヘルス	1		
		母性看護援助論Ⅰ	1		
		母性看護援助論Ⅱ	1		
		母性看護学実習	2		
	小児看護学	小児看護学概論	1		
		多様性と子ども	1		
		小児看護援助論Ⅰ	1		
		小児看護援助論Ⅱ	1		
		小児看護学実習	2		
	高齢者看護学	高齢者看護学概論	1		
		多様性と高齢者	1		
		高齢者看護援助論Ⅰ	1		
		高齢者看護援助論Ⅱ	1		
		高齢者看護学実習	2		
	国際地域看護学	精神看護学概論	1		
		多様性とメンタルヘルス	1		
		精神看護援助論Ⅰ	1		
		精神看護援助論Ⅱ	1		
		精神看護学実習	2		
	地域・在宅看護学	地域・在宅看護学概論	1		
		多様性と地域・在宅看護	1		
		地域・在宅看護援助論Ⅰ	1		
		地域・在宅看護援助論Ⅱ	1		
		地域連携継続看護演習Ⅰ	1		
		地域連携継続看護演習Ⅱ	1		
		地域・在宅看護学実習	2		
	国際看護学	国際看護学概論	1		
		国際看護演習Ⅰ	1		
		国際看護演習Ⅱ	1		
		国際看護演習Ⅲ	1		
		国際看護演習Ⅳ	1		1
		国際看護学実習Ⅰ	1		
		国際看護学実習Ⅱ	1		
		国際看護学実習Ⅲ	1		
	統合分野	看護外国人診療	1		
		災害看護	1		
		看護研究Ⅰ	1		
		看護研究Ⅱ	2		
		統合看護学実習	2		
国際看護学部 卒業要件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合科目から必修科目を含め22単位以上</li> <li>・専攻科目の「専門基礎分野」区分から必修科目29単位、「専門分野」区分から必修科目71単位の計100単位以上</li> <li>・上記要件を満たした上で、総合計124単位以上</li> <li>・入学時からの通算GPA1.5以上</li> </ul>				

[別表1] 授業科目及び単位数

経営学部 経営学科

科目区分	授業科目	単位数			備考
		必修	選択	自由	
総合科目	キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ キャリアデザインⅢ キャリアデザインⅣ 哲学 史学 数学	2 2 2 2			必修科目について、特に必要があると認める場合には、履修を免除することがある。
			2 2 2		
外国語科目	英語Ⅰ 英語Ⅱ ドイツ語Ⅰ ドイツ語Ⅱ フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ 中国語Ⅰ 中国語Ⅱ 韓国語Ⅰ 韓国語Ⅱ スペイン語Ⅰ スペイン語Ⅱ	1	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		
目テ用情 ーと報 シブ機 ヨレ器 ンゼの 科ソ活	情報活用Ⅰ 情報活用Ⅱ 表計算演習 AI・データサイエンスの扉 教養としてのAI・データ活用 教養としてのAI・データ活用(実践演習)	1	1 2 2 2 2		
ス ポ ー ツ ・ 健 康 科 目	保健体育 バレーボール バスケットボール バドミントン 軽スポーツ レクリエーション&スポーツ フィットネス&スポーツ コミュニケーション・スポーツ ヨーガ&ピラティス実習 健康ボデイケア実習 ボデイワーク&コミュニケーション実習		2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		
キ ャ リ ア ア ッ プ 科 目	就業体験のデザインと実践 ファッション・デザイナー養成演習 Global Career Seminar A Global Career Seminar B Global Career Seminar C Global Career Seminar D 地域貢献PBL Community Development PBL(GJS) Internship(GJS) サービスラーニング 職業選択演習 職業選択演習 応用 留学生のためのビジネスマナー・作文		2 4 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		* *を付した科目は年度毎に内容が異なるため履修ごとに単位を付与する
法 と 社 会 科 目	哲学と社会 倫理学 法学 日本国憲法 民法Ⅰ 民法Ⅱ 行政法		2 2 2 2 2 2 2		

[別表Ⅰ] 授業科目及び単位数

専攻科目	専門分野	経営	経営学の扉	2		
			経営学入門	2		
			経営戦略論Ⅰ		2	
			経営戦略論Ⅱ		2	
			組織行動論		2	
			人的資源管理論		2	
			経営組織論		2	
			マネジメント史		2	
			アントレプレナーシップ入門		2	
			ベンチャー経営論		2	
			環境経営論		2	
			生産管理論		2	
			国際経営論		2	
			スイーツビジネス		2	
		地域産業論		2		
		会計	会計学入門	2		
			商業簿記Ⅰ		2	
			商業簿記Ⅱ		2	
			商業簿記Ⅲ		2	
工業簿記			2			
パソコン会計			2			
財務会計論			2			
管理会計論			2			
ファイナンス入門			2			
会計学応用演習			2			
税務会計論			2			
証券投資論			2			
証券投資演習			2			
マーケティング	マーケティング入門	2				
	マーケティング戦略論		2			
	マーケティングリサーチⅠ		2			
	マーケティングリサーチⅡ		2			
	消費者行動論		2			
	食のマーケティング		2			
	ファッションマーケティング		2			
	サービス経営		2			
	商品企画論		2			
	ブランド論		2			
	流通マーケティング		2			
	デジタルマーケティングⅠ		2			
	デジタルマーケティングⅡ		2			
	クリエイティブマーケティング演習Ⅰ		2			
クリエイティブマーケティング演習Ⅱ		2				
デジタルビジネス	デジタル社会とテクノロジー	2				
	コンピュータ技術		2			
	経営と情報システム		2			
	ビジネス情報処理Ⅰ		2			
	ビジネス情報処理Ⅱ		2			
	課題解決のためのデジタル活用Ⅰ		2			
	課題解決のためのデジタル活用Ⅱ		2			
	デジタル経営論		2			
	社会におけるデータ・AI利活用		2			
	ビジネスの数字を読む		2			
	データの分析と活用Ⅰ		2			
	データの分析と活用Ⅱ		2			
	データサイエンスⅠ		2			
データサイエンスⅡ		2				
いき	働くことを考えるⅠ	2				
	働くことを考えるⅡ		2			

[別表1] 授業科目及び単位数

	いき キ ヤ リ ア	名著・名作から人生を考える キャリア形成と社会 キャリアトランジション論 キャリアの心理学 仕事と職場の心理学 キャリアカウンセリングⅠ キャリアカウンセリングⅡ 企業内キャリア開発 ライフコースの心理学 キャリアモデル事例研究 働くことの哲学		2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	
	専 門 共 通	ロジカルシンキング 企業行動の見方・考え方:ビジネス・エコノミクス ビジネス法の基礎 経済学入門 ミクロ経済学 経営現場で起こる諸問題 日本経営史 Business English Cross Cultural Communication		2 2 2 2 2 2 2 2	
	目 人 間 力 科	人間関係トレーニング リーダーシップと問題解決 職場コミュニケーション デザイン思考		2 2 2 2	
	実 践 科 目	フィールドスタディⅠ フィールドスタディⅡ フィールドスタディⅢ 実践演習(経営Ⅰ) 実践演習(経営Ⅱ) 実践演習(会計Ⅰ) 実践演習(会計Ⅱ) 実践演習(マーケティングⅠ) 実践演習(マーケティングⅡ) 実践演習(デジタルⅠ) 実践演習(デジタルⅡ) 実践演習(キャリアⅠ) 実践演習(キャリアⅡ)		2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	
	究 総 合 研	ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ 卒業研究	2 2 4		
経営学部 卒業要件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合科目から必修科目を含め10単位以上</li> <li>・専攻科目から必修科目20単位を含め74単位以上</li> <li>このうち、主専攻として選んだ専門分野1つから16単位以上を含む</li> <li>・上記要件を満たした上で、合計124単位以上</li> </ul>				

[別表2]

## 入学金、授業料及びその他の学費

種別	国際日本学部		建築&芸術学部		現代社会学部		健康栄養学部		国際看護学部		経営学部	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
入学金	240,000円	-	240,000円	-	240,000円	-	240,000円	-	240,000円	-	240,000円	-
授業料	415,000円	415,000円	415,000円	415,000円	415,000円	415,000円	445,000円	445,000円	525,000円	525,000円	415,000円	415,000円
施設設備費	120,000円	120,000円	120,000円	120,000円	120,000円	120,000円	120,000円	120,000円	-	-	120,000円	120,000円
教育充実費	-	-	75,000円	75,000円	-	-	75,000円	75,000円	-	-	-	-
教育施設充実費	-	-	-	-	-	-	-	-	310,000円	310,000円	-	-
合計	775,000円 <small>(入学時納入額)</small>	535,000円	850,000円 <small>(入学時納入額)</small>	610,000円	775,000円 <small>(入学時納入額)</small>	535,000円	880,000円 <small>(入学時納入額)</small>	640,000円	1,075,000円 <small>(入学時納入額)</small>	835,000円	775,000円 <small>(入学時納入額)</small>	535,000円
年額	1,310,000円		1,460,000円		1,310,000円		1,520,000円		1,910,000円		1,310,000円	

## 休学中の在籍料

種別	国際日本学部		建築&芸術学部		現代社会学部		健康栄養学部		国際看護学部		経営学部	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
在籍料	60,000円	60,000円	60,000円	60,000円	60,000円	60,000円	60,000円	60,000円	100,000円	100,000円	60,000円	60,000円